



学校教育目標

自 ら 学 ぶ 子



「学び続ける子」「共に生きる子」「健やかな子」「浦島の子」「未来を創る子」

9月号 令和8年8月31日

子どもたちの姿があつてこそ

校長 金子 博美

学校に子どもたちが戻ってきました。やはり学校という場所には、子どもの姿や声がないと寂しいものです。夏休みも終わり、また子どもたちとの日々が始まります。

夏休みは、PTA 主催の水鉄砲大会にはじまり、地域のお祭りやかめのこクルー主催の「花火を見る会」などもあり、子どもたちが学校以外のところで楽しんでいる様子を見たり知ったりすることもできました。お祭りの会場では、私の姿を見つけると、少し離れたところにいるにもかかわらず、「あ、校長先生！」と大きな明るい声で呼びかけてくれる子どもたちもたくさんいました。そのあと友達も何人か連れて、私のそばまできて、「先生も、来ていたんですね」「あっちにお店もありますよ」など、口々にいろいろなことを教えてくれるのです。「ありがとう。行ってみようかな」と言うと、「先生も、楽しんでくださいね。」と笑顔で返してくれました。地域での子どもたちは、学校での「いつもの顔」と少し違って見えました。地域は、子どもたちにとってのホームグラウンドであることを感じさせる笑顔は、とても新鮮であり、いい表情です。

子どもたちが登校しない学校で仕事をする日もありました。キッズに参加するために坂をのぼってきた子どもに門の前で出会うと、「校長先生！」と元気な挨拶と笑顔。「夏休みなのに、会えてラッキー！」と私が言うと、「うん、ラッキー！」と返ってきたので、思わずくすっと笑ってしまいました。

普段の学校生活とは違った場所や時間に出会っても、子どもたちは、本当によく「校長先生」と声をかけてくれます。その瞬間に私も「校長先生の顔」になり、子どもたちがいるおかげで、「校長先生」としての自分があることをあらためて感じます。その子どもたち一人ひとりにとって幸せな学校であるために尽くす日々が再開します。運動会もあります。子どもたちと共に過ごす喜びを味わいながら、どの子も楽しさを実感できる教育活動をめざしていきたいと思います。

夏休み中に、地震や大雨によるニュースもありました。もしも夏休みでなかったら・・・、横浜で起きていたら・・・と考えずにはいられませんでした。実際、6月には、強い雨風の中で登校すべきかの判断にあたって保護者の皆様にご心配をおかけしたところです。9月は、まだまだ台風シーズンです。また、我々職員は当然のこと、子どもたちの防災に対する知識や意識も高めることをめざし、学校では、大規模地震と火災を想定した総合防災訓練も実施します。保護者の皆様にも、今一度、休校等の判断につきまして確認をお願いいたします。

＊午前6時の時点で横浜市全域または北部に「暴風警報」が発令している場合は、休校です。(メールなし)

＊登校時刻までに横浜市全域または北部にレベル4以上の警報が発令している場合は、休校です。(メールなし)

＊前日に市教委から「翌日休校」の指示があった場合は、その時点で翌日は、休校です。(メールあり)

これら以外については、保護者の方々による判断となっています。安全を確保するために登校を見合わせる場合は、遅刻や早退、欠席等の扱いにはなりません。その際は、必ず学校への連絡をお願いします。

なお、登校後に横浜市全域または北部にレベル4以上の警報や市内に震度5強以上の地震を観測した場合は、預かり・引き渡しです。(メールあり)

9月になりましたら、最新の「風水害・地震等に対する登下校マニュアル」をメールにて配信する予定です。ぜひ、そちらをお目通しください。